

唐湊果樹園におけるゼラニウム属植物の栽培

田 中 国 昭

緒 言

唐湊果樹園では1987年まではゼラニウム *Geranium* 栽培の経験がなく、販売用鉢物栽培もうまくいかず数年間は苦勞したが、経年とともに栽培技術の修得につとめたところ、ゼラニウムについて次のようなことが判明し、この栽培に取り組んだ。

- ・栽培、管理が容易である。
- ・花の色が豊富である。
- ・挿し木が容易である。
- ・乾燥に強い。
- ・周年栽培ができる。

材料と方法

栽培は、ビニルハウス100m²を挿し穂用及び150m²を育苗用に計2棟250m²で行った。

品種 太陽、日の出、桃山、白雪、スタービューティ、オーキッド、F₁スターテル系レッド、ピンクの八重咲き、その他。

挿し木の適期は4月から10月と判断し、次のような要領で行った。

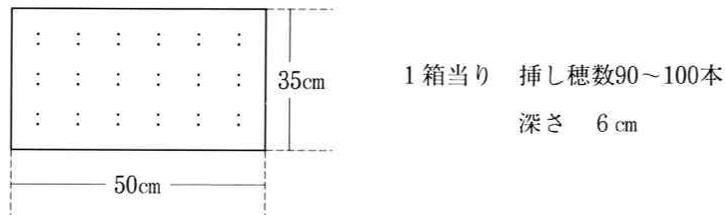
挿し穂の調整は充実した先端部を10~15cmとした。

節間の詰まった部位を展開葉3枚とした。

日陰で1日挿し穂を乾かして浅挿しと深挿しの二通りの方法で行った。

挿し木後20~40日で鉢上げした。

挿し木用育苗箱



用土は重量比で、鹿沼土：ボラ土：腐葉土：黒土：ピートモス：苦土石灰：骨粉＝1：2：1：1：1：1：1で混合した。

鉢上げはポリ3号鉢を用い、鉢植え後10日で1回摘心をして側芽を出させ、側芽数は3本位にした。

出荷用はプラスチック鉢の5号鉢に植え替えて、日当たりの良い場所に置いた。水管理は乾きぎみにした方が花つきが良く草姿もコンパクトに仕上がった。

結果と考察

発根は浅挿しした方が良く、深挿しは発根が悪かった。

年間を通じて細かいボラ土挿しが発根が良かった。

水管理は乾きぎみの管理が、花着きは良かった。

施肥はやや少な目が花着きがよく葉も小型であった。

出荷1週間前に花を摘んで、花を一斉に咲かせた。

第1表 花き市場出荷状況

項目\出荷期☆	4月	5月	6月	7月	8月	9月
市場入荷量	1,434	2,686	1,258	392	—	—
平均単価	213	181	172	190	—	—
出荷※	1,803	240	1,424	72		
単価※	158	187	50	70		
項目\出荷期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市場入荷量	—	788	—	66	425	976
平均単価	—	232	—	129	266	299
出荷※						
単価※						

資料：鹿児島花市場 1993年

※：唐湊果樹園

第2表 市場売上額と平均単価

区分	出荷量	単価	金額
市場	21,338鉢	209円	4,459,642円
唐湊果樹園	3,539	116	380,980

唐湊果樹園の出荷品の平均単価は、市場の209円に比べ約半値の116円であった。このことは、前年の出荷残りを含めて出荷したため評価が小さかったこと、また徒長気味の出荷で評価の低いことがあげられる。今後の課題としては、八重咲を多く挿し木繁殖し、一重咲は種子繁殖を行う、夏は高温・台風対策に気をつけ、冬は二重張りにして保温を行う。